

大阪大学 薬友会だより

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6 大阪大学薬学部内 大阪大学薬友会

薬友会幹事長就任のご挨拶

薬学研究科長・薬学部長 宮本 和久(特別会員)



薬友会会員の皆様におかれましては、ますますお元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。本年6月1日付で、薬学研究科長・薬学部長に就任し、同時に役職指定で薬友会幹事長を仰せつかりました。この機会に、会員の皆様に大学や薬学部の現状をご報告し、ご挨拶に代えさせていただきます。

21世紀を迎え、大学を取り巻く環境が激変しました。文部科学省は、これまでの護送船団方式の大学行政をやめ、国立大学の独立行政法人への移行を促しています。法人化後の姿は未だ明確ではありませんが、組織再編の動きは大阪大学で既に進行しています。具体的には、これまでの部局の枠を越えた「情報科学研究科」と「生命機能研究科」の新設が平成14年度の概算要求事項となりました。また、「大阪大学総合学術博物館」構想も要求事項に組み入れられており、ここには薬学部が文学部、理学部とともに参画しています。組織の再編に加えて、教官任期制の導入や専門分野の異なる教官の任用などを推し進めることが、大学の活性化に欠かせないとの意見もあります。このような状況変化の中であって、薬学部の伝統を受け継ぎながら、独自に活性化を図るには、会員の皆様からのご意見を反映させることが重要になってきます。大所高所からのご指導を頂ければ有り難く存じます。

前号の今西研究科長の報告にもありますように、薬学教育においても大きな改革が求められています。医療薬学へのシフトは着実に実行に移されていますし、薬学部教育のコアカリキュラムも、国公立大学薬学部長会議教育部会において作成が急がれています。薬学教育6年制に関わる論議も引き続き活発に行われています。さらに、大学の機能としての社会貢献や国際協力がますます強く求められるようになりました。これまでも、ラジオ講座や開放講座に参加し、薬学分野の役割を市民に伝えてきました。また、平成6年度からは、独自に「薬学部公開講座」を開講し、最新の学術情報を薬学関係者だけでなく一般市民にも広く発信してきました。今年度からは、薬学部50周年記念事業の一環として、「地域研究交流フォーラム」を開催し、薬学関連領域での産官学の連携を地域社会の中で推進しようと努めています。国際化の推進には、大学院生の海外派遣事業や外国若手研究者招聘事業を立ち上げ、既に初回の募集を始めました。これらも創立50周年記念事業の一環であり、卒業生の皆様からのご寄付を有効に生かしたいと考えています。

研究科の教授全員で構成される幹事会では、薬友会の活性化にむけての活発な議論を行っています。現役学生に同窓会組織の重要性を訴え、今年度の卒業生では、ほぼ100%の終身会費納入率を達成しました。一方、年々増え続ける会員に対するサービスの充実にも努めています。薬剤師国家試験準備のための講習会を支援し、学生会員の合格率向上に大きく寄与しています。また、卒業生有志の方々が育てこられた「卒後研修会」を薬友会が引き継ぎ、新たな展開を計る案が検討されています。会員の皆様には、これら諸事業にご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

薬学部創立50周年記念事業

記念事業実行委員会委員長 馬場明道(17期)

薬学会会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平成11年度の薬学部創立50周年を記念して発足させました記念事業につきまして現在までの進捗状況を簡単にご報告させていただきます。

1. 募金活動

平成11年4月に大阪大学薬学部創立50周年記念事業委員会を大阪大学薬友会と大阪大学薬学研究科教授会とで構成し、主に、その実行については教授会メンバーによる実行委員会を設け、対応してきました。50周年を記念して、この50年間を振り返り、また次の新たな50年に向けてスタートを切る事業として ①地域研究交流フォーラム②国際交流事業の推進 ③記念誌刊行 ④記念式典・記念講演会、を行うことを決定し、併せてそのための募金委員会（委員長真弓忠範教授）を発足させ、薬学会会員の皆様、教職員、関連企業に寄附のお願いをして参りました。事業総予算5,000万円を目標に、募金活動を鋭意進めてまいりましたが薬学会会員の皆様、本学教職員、大阪医薬品協会をはじめ関係各位の多くのご理解を頂き目標額を上回る募金を頂くことが出来ました。多くの方々の大変なご援助のもとにはじめて可能になったことでありまして、ここに厚く御礼申し上げます。

募金総額 55,920,000円（840件、内薬友会・教職員関係743人）
（平成13年3月現在）

2. 記念事業

①記念式典、記念講演会

昨年薬学会だよりでご報告しました様に、平成11年度12月17日、大阪リーガロイヤルホテルにおいて300名を超える参加者のもと記念式典、記念講演会を行いました。

②記念誌刊行・記念出版

創立50周年記念写真誌「写真でみる大阪大学薬学部の半世紀」を刊行しました。記念出版につきましては薬学研究科教授会メンバーによる薬学の現在についての分冊と林信一、米田該典両氏による大阪とくすりの歴史を検証する2分冊からなる「大阪とくすり」（大阪大学出版会）が最終校正段階にあります。

③国際交流事業

薬学部・薬学研究科の教育研究をより国際的視野から行う目的で、薬学部若手研究者の海外研修助成と外国人研究員（かつて本学部に留学した経験をもつもの）の大阪大学薬学部での研修助成の2つについての基本方針、規定などを決定し、今年度から実施する予定である。

④地域研究交流フォーラム

薬学を構成する化学・医療・環境の3分野について本薬学研究科と地域の関連団体との学術交流を深めることにより地域の中で学際的研究を展開していくことを目的に行われるものです。（次ページに関連記事）

尚、国際交流事業、地域研究交流フォーラムは10年間継続する予定です。今後、これらの事業についても会員の皆様への情報発信をより一層行い、社会との相互交流を見据えた学際的・高度な学術研究を推進していく所存であります。会員の皆様の変わらないご指導の程お願い申し上げます。

「第1回地域研究交流フォーラム」開催

大阪大学薬学部・薬学研究科主催「第1回地域研究交流フォーラム」が4月21日（土）午後1時30分より大阪大学医学部銀杏会館にて開催されました。

本フォーラムは大阪大学薬学部50周年記念事業の一環で、大阪大学薬学部・薬学研究科が21世紀により大きく発展するために、産官学の連携を地域の中で推進することにより新しい薬学科を創出することを目指すものです。薬学の関わる創薬、医療、環境の3分野について各回毎1分野にテーマを絞った講演会を年3回継続して開催する予定です。第1回フォーラムでは、個の医療及び医薬情報に焦点をあてた講演会が開催され、学内外から幅広い年代層にわたり、病院・薬局薬剤師をはじめ、会社員学生等約150名が参加しました。

講演会開会に当たって、薬学部創立50周年記念事業実行委員長の馬場明道教授の趣旨説明、並びに薬学部研究科長の今西 武教授の挨拶があり、東 純一薬学研究科教授（個の医療時代の幕開け）、大阪市立大学大学院医学研究科の舩江良彦教授（薬物代謝酵素の多様性と個の医療）、武田 裕医学系研究科の教授（診療情報の電子化と医療の科学化）、大阪医薬品協会理事長の植木明廣氏（大阪薬業界の最近の動向）によりホットな話題が提供され、活発な討論がなされました。講演会は第1回フォーラム世話人代表の東教授の挨拶で閉会し、引き続き、同銀杏会館にて懇親会が開かれ、和やかな雰囲気での交流がもたれました。



懇親会で挨拶をされる
林薬友会会長



講演される武田医学系研究科教授



懇親会風景



「4週間必修病院実習」 本年度よりスタート

医療チームの担い手としての薬剤師の地位が確立され、薬剤師を取り巻く環境の変化から薬学教育の改革、特に医療薬学の充実が社会的に求められてきた。その中の重要課題の一つが病院実習である。本学部では1996年度から阪大医学部附属病院薬剤部の協力の下、2週間の病院実習を選択科目としてスタートさせていたが、2001年度より4年次の病院実習を4週間必修化で実施することとなった。実習は、阪大医学部附属病院、阪大歯学部附属病院、国立循環器病センター病院、箕面市立病院、市立池田病院、市立豊中病院、近畿中央病院、私立伊丹病院、吹田市民病院、大阪船員保険病院、市立堺病院で5月から12月にわたって実施される。本実習では、臨床教授等制度を適用しこれらの病院薬剤部の長を臨床教授、臨床助教授とした非常勤講師として病院実習での臨床薬学教育に積極的に参画していただいている。このように本学部では、阪大医学部附属病院および地域医療機関の多大なご協力・ご支援の下、トップレベルの臨床実務実習の実現と社会のニーズにも十分対応できる薬学教育体制の確立を目指している。（病院実習世話教官、松田敏夫）

お知らせ

九期生の皆様へ： 2001年度同窓会のお知らせ

昨年（2000年）我が薬学部は創立50周年であった。とすると、1957年入学の我々九期生は本年（2001年）、卒業40周年となるはず*。（何故そうなるか分らん九期生は、既に相当毫碌していることになりますからご安心を？）（*としても、しなくても実は無関係。）同窓会は、過去においては「数年に一度」、やがて「隔年に」なり、最近では、何時会えなくなるか分からないということとて、毎年開催。今年は上記の事情で、一泊旅行とすることが昨年の会で決定されている。奥田順三氏、鈴木幸子氏、松本 明氏の三当番幹事が現在、東京～大阪間で至適の開催地を検討中。乞うご期待!? 現在、生存者52/57名、例年30名前後が出席。本年も多数の参加を期待します。（6月に行った予備調査では、ほぼ30名が出席予定との回答。）

（文責：大森 秀信）

19期生卒後30周年記念同窓会のお知らせ

日 時：平成13年9月15日（土）午後4時～6時

場 所：新阪急ホテル 2F 紫2の間

幹 事：薬 学 科 吉村（川井）久子（自宅0727-79-8952）

野村（露木）節子（自宅06-6436-2672）

製薬化学科 杉浦計三（自宅06-6929-5059、勤務先082-292-4393）

福田俊一（自宅06-6621-0789、勤務先06-6921-8076）

寄付および終身会費納入者一覧

薬友会では48期生以降については終身会費制(30,000円)をとっておりますが、それ以前の卒業生には、会費に代わってご寄付をいただくことに致しております。ご寄付いただいた会員諸兄姉にお礼申し上げます。引き続き広くご協力をお願いいたします。

下記の一覧は2000年7月1日より2001年6月30日の間に寄付いただいた方ですが、お名前が漏れている場合は薬友会会計担当委員までお知らせください。なお寄付は1口5,000円とし、同封の振込用紙でお送りいただきますようお願いいたします。

(数字:期数、特別:特別会員)

終身会費納入者

東 辰哉 (48)	牡鹿達也 (49)	岩田美那子 (49)	岡本美代 (50)	嶋田 健 (53)
市堀絢子 (48)	木下雅裕 (49)	大島 淳 (49)	Lu Ying (50)	高田慎治 (53)
江原良枝 (48)	栗田光将 (49)	岡伸一郎 (49)	一條知昭 (51)	高田佳代子 (53)
大嶋民子 (48)	小出寛子 (49)	岡本貴行 (49)	久保田智子 (51)	高橋梨佳 (53)
雄谷律子 (48)	笹岡裕美子 (49)	小川景子 (49)	成相哲朗 (51)	築山直弘 (53)
奥野 剛 (48)	佐々木真理 (49)	奥村光晶 (49)	石橋拓也 (52)	柘植剛史 (53)
小黑育代 (48)	重臣牧子 (49)	小林恭子 (49)	半田晋也 (52)	中川勝博 (53)
河合一志 (48)	吹田直政 (49)	小林伸好 (49)	青木静香 (53)	中西弥生 (53)
川崎敦子 (48)	杉本大気 (49)	阪本和広 (49)	阿知波寛基 (53)	中村仁美 (53)
河端万里子 (48)	新出道代 (49)	佐藤 翠 (49)	井内睦実 (53)	野村鉄也 (53)
川辺直生子 (48)	武田光加 (49)	澤間善成 (49)	石濱壽紘 (53)	ハフシレイラ (53)
小崎龍平 (48)	塚本光希 (49)	須子慎一郎 (49)	石原小太郎 (53)	東本健一 (53)
田村憲久 (48)	中村照也 (49)	曾和千香子 (49)	伊藤 彩 (53)	久野 悠 (53)
辻 直城 (48)	長野貴之 (49)	坦ヶ 愛 (49)	今井十芙絵 (53)	藤井晴美 (53)
辻川貴美子 (48)	西田真理 (49)	田上雅之 (49)	植木理沙 (53)	松浦晶子 (53)
津田育宏 (48)	平田千春 (49)	田中敏生 (49)	占部久美子 (53)	松尾智恵子 (53)
中島響子 (48)	平野あすみ (49)	中谷仁美 (49)	大谷江美子 (53)	御園生昌史 (53)
中村貴宣 (48)	広瀬 恵 (49)	永井良平 (49)	片山貢平 (53)	三岡恭典 (53)
畑中理恵 (48)	福本泰典 (49)	西村枝里子 (49)	加藤奈緒子 (53)	南田佳孝 (53)
平柳奈弓 (48)	古元 義 (49)	橋本 健 (49)	加藤秀昭 (53)	三好明人 (53)
吉岡英斗 (48)	平郡 薫 (49)	原候士朗 (49)	金尾由木子 (53)	森重智弘 (53)
吾郷由希夫 (49)	牧戸直紀 (49)	樋口才飛 (49)	鎌倉 彩 (53)	山内英恵 (53)
足立亜紀子 (49)	松田公裕 (49)	前田 純 (49)	鎌田紗代 (53)	山下恵実 (53)
足立昌資 (49)	松永憲和 (49)	増田奈津子 (49)	河田裕治 (53)	山根晶子 (53)
石崎順一 (49)	明星有紀子 (49)	宮村久美子 (49)	木村 康 (53)	山本明子 (53)
石徹白愛 (49)	三好智也 (49)	飯塚早智子 (49)	桐野貢圭 (53)	渡部康雄 (53)
井戸めぐみ (49)	安永実沙 (49)	森田大介 (49)	楠梨紗子 (53)	
今井大介 (49)	山下梨沙子 (49)	和田あゆみ (49)	栗原大輔 (53)	
江川弘明 (49)	五十嵐映子 (49)	霍田嘉代子 (50)	香田 健 (53)	
江口 健 (49)	乾 正樹 (49)	土生直子 (50)	佐藤秀治 (53)	

寄付納入者

相田 茂 (1)	小井田雅夫 (7)	山下治夫 (13)	宇野雪子 (21)	近藤昌夫 (42)
辻本清日出 (1)	田中篤子 (7)	吉原正彦 (13)	湊 理恵子 (21)	
畑田昭雄 (1)	折田瑛子 (8)	興津博捷 (14)	安井伸行 (21)	溝口 正 (院6)
平井瑛三 (1)	佐野武弘 (8)	岡 眞 (15)	池沢洋子 (22)	水上英一 (院6)
吉川元二 (1)	繁本弘子 (8)	樋口幸雄 (15)	橋村恵子 (22)	島本隆光 (院8)
大木弘行 (2)	橋本政雄 (8)	岡上伊都子 (16)	菅 浩子 (23)	木村孟淳 (院8)
小西孝男 (2)	森本美智子 (8)	鶴田康則 (16)	繁治加代 (24)	稗田 勝 (院9)
近藤雅臣 (2)	河合令子 (9)	長井悦子 (16)	新堂尚子 (26)	石原美知子 (院10)
森田 實 (2)	瀬戸義子 (9)	坂東佐知子 (16)	山部義裕 (27)	青木正忠 (院12)
鴻海茂寛 (3)	井上博純 (10)	藤井敏彦 (16)	岡部まどか (29)	竹内由和 (院12)
小林良雄 (3)	尾崎茂子 (10)	藤田日出子 (16)	河田恭子 (31)	山内 博 (院13)
小村典子 (3)	川路晴子 (10)	岡 悠子 (17)	前崎直容 (31)	鈴木茂生 (院28)
森田佐多子 (3)	広橋敦子 (10)	佐野圭二 (17)	和田弥生 (31)	安井清忠 (院29)
潮 隆次 (4)	植木久一 (11)	鈴木桂子 (17)	斎藤直賢 (32)	
藤山 朗 (4)	垣江美世子 (11)	三浦貞彦 (17)	安友恵子 (32)	下野勘次 (研究生)
佐々木清司 (5)	河本征子 (11)	岩田純子 (18)	山澤紀子 (32)	
繁田 実 (5)	小森桂子 (11)	魚住順子 (18)	古野本幸一 (33)	東 純一 (特別)
日高 保 (5)	中川量之 (11)	酒井美世 (18)	前崎博信 (35)	大野浩章 (特別)
池口咲子 (6)	松村興一 (11)	坂上章子 (18)	赤羽薫 (37)	川瀬雅也 (特別)
西井易穂 (6)	山下みどり (11)	竹内菊恵 (18)	磯和明子 (37)	小林綾子 (特別)
平田郁子 (6)	大西明代 (12)	木口恵美子 (19)	小泉義彦 (39)	山本 勇 (特別)
深本明子 (6)	真弓邦子 (12)	木村直子 (20)	小亀里香子 (39)	
三好千代子 (6)	南 登代子 (13)	武藤徳男 (20)	篠原順子 (40)	
渡部伸江 (6)	森井慶子 (13)	森 久美子 (20)	小井手 崇 (42)	

平成13年度大阪大学薬学部公開講座のご案内

平成13年度大阪大学薬学部公開講座「新時代の薬学」が下記の要領で開催されます。

日 時	平成13年9月29日(土) 10月13日(土) 10月20日(土)
会 場	大阪大学コンベンションセンター(大阪大学吹田キャンパス) 1階会議室
講師・演題	9月29日(土) 13:30~17:00 『培養せずに細菌をとらえる』……………(大阪大学大学院・薬学研究科) 谷 佳津治 『生体防御タンパク質の役割』……………(大阪大学大学院・薬学研究科) 伊藤 徳夫 10月13日(土) 13:30~17:00 『マラリア制圧を考える』……………(大阪大学大学院・薬学研究科) 村上 啓寿 『医薬品適正使用のための医薬品情報の評価と利用』 ……………(国立循環器病センター・薬剤部) 高田 充隆 10月20日(土) 13:30~17:00 『ステロイドホルモンの作用メカニズム』……………(大阪大学大学院・薬学研究科) 西川 淳一 『遺伝子改変動物を用いた遺伝子機能の解析～不妊モデルマウスから緑色蛍光マウスまで～』 ……………(大阪大学・遺伝情報実験センター) 岡部 勝
定 員	150名(先着順)
受 講 料	5,800円(3回分)
参加申込	1) 受 付 大阪大学薬学部庶務掛 (受講料持参または現金書留) 2) 受付期間 8月24日(金)～9月14日(金) (定員に達し次第締め切ります。) なお、本講座は日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度対象講座です。
問い合わせ	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6 大阪大学薬学部庶務掛 06-6877-5111 (代表) 06-6879-8144 (直通) ホームページアドレス http://www.phs.osaka-u.ac.jp メールアドレス kouhou@phs.osaka-u.ac.jp

平成13年度薬学部および薬学研究科学生在籍数 (平成13年4月1日現在)

薬 学 部				薬 学 研 究 科				
				修士課程(博士前期)		博士課程(博士後期)		
1年生	2年生	3年生	4年生	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
87	86	85	97	91	92	40	31	40

平成12年度卒業者の進路

	卒業生総数	進学	企業	病院	官公庁	その他
学部学生	82	66	9	1	0	6
博士前期	87	23	53	3	0	8
博士後期	20	—	7	0	0	13

薬友会役員名簿

会 長	林 信一(1)
副 会 長	萬年成泰(9) 奥田順三(9) 真弓忠範(12)
理 事	岩田宜芳(11) 伊藤允好(12) 田中慶一(13) 山内 博(13) 谷野勝則(14) 今西 武(15) 勝野真吾(15) 大杉義征(15) 鍋島俊隆(16) 馬場明道(17) 植木明廣(17) 鈴木桂子(17) 那須正夫(21) 小林資正(22)
幹 事 長	学部長(役職指定, 宮本和久:特)
幹 事	大阪大学薬学部全専任教授 (総務担当: 田中(徹)、会計担当: 前田、 名簿担当: 八木、広報紙担当: 松田)
監 事	大森秀信(9) 山下治夫(13)
最高顧問	近藤雅臣(2)
顧 問	新田進治(2)
名誉理事	濱 堯夫(2) 抱 忠男(2) 藤井正美(2) 松本光雄(2) 岩田宙造(6)

編集後記

本年6月から「薬友会だより」の編集を担当することになりました。創刊号から第3号まで編集をご担当された田中慶一教授、印刷業者デリンスさんのご協力で、やっと第4号の発行に至りました。今後ともよろしく願い申し上げます。本広報では大阪大学薬学部そして薬友会の近況を報告し、また会員の皆様からの薬友会に関連するご意見・情報・資料等を掲載いたします。皆様からのご寄稿をお待ちしております。なお、ご投稿(締切6月末)の際には予めご連絡下さい。

(T. M.)